

DX支援コンサルティングの特徴

「中立公平」な
立場でのご支援



システムとコンサルティング双方の知見を活用し、システム化の目的や要求に対する最適な手段検討を行うためのご支援をいたします。

開発ベンダーではないため、システム選定の際には中立公平な立場でのご支援が可能です。

「納得感」を重視した
ファシリテーション



システム導入では、経営層、現場、IT部門それぞれの立場において納得感を得て取り組むことが重要となります。

関わる組織・メンバーが納得感を持ち、自分事化することを重視した資料作成や会議進行を行い、検討結果を経営層に報告し承認を得て、会社として適正な段階を踏むプロセスでの推進をいたします。

「実現性」の高い
構想や計画を立案



理想が先行した実行不能な構想や計画(ToBe)は、その後の導入構築プロジェクトにおける遅延やコスト増大などの大きなITリスクを内包する懸念があります。

実際のプロダクトサービスや他社事例なども踏まえた実現性の高い具体的な構想や計画の立案(CanBe)に向けたご支援をいたします。

社内にあるデータを
経営や業務に活用したい



アナログな作業が多く
DXで業務を効率化したい



お客様の声



製造業 経営層

実行可能で効果が見込めるIT活用の道筋が立った！

ご利用サービス：IT活用に向けた現状可視化と構想策定支援 期間：3か月

- 【事前の課題】 部門間の情報連携がExcelやメールで行われているため、必要な情報が点在。また情報が組織全体で共有されておらず、情報収集に時間がかかっている上、データ活用もできていない。
- 【事後の効果】 実行可能で効果が見込めるIT活用の道筋が立つとともに、会社として取り組むべき業務プロセス改善や意識改革の重要性について経営層・業務部門での認識共有を実現。



卸売業 現場担当者

業務効率化が期待できる新システムが選定できた！

ご利用サービス：基幹システム更改に向けた調達支援 期間：7か月

- 【事前の課題】 経営分析のためのExcel集計作業や、紙・FAXなどのアナログ作業が多く負荷が高いため、システム更改によりIT基盤を整備したいが、どのようにベンダーを選べばいいかわからない。
- 【事後の効果】 一般のパッケージが有するであろう機能を最大限に活用する方針で新しい業務の検討を実施することで、業務効率化が期待できる新業務フロー案の策定とベンダー選定を達成。



建設業 IT・DX部門

飛躍的な生産性向上に向けて、DX組織を強化できた！

ご利用サービス：生産性向上に向けたDX組織強化支援 期間：6か月（以降2年間ご支援）

- 【事前の課題】 従業員数減・仕事量増が見込まれる中、飛躍的な生産性向上に向けたIT活用が必須であるが、社内リソースや知見が乏しく何から始めたらよいか困っていた。
- 【事後の効果】 DX推進組織と共に、現状可視化・勉強会開催・施策案検討・AI-OCR導入展開等を推進し、業務効率化（▲1000時間/年）を達成。さらにはDX組織拡大（3名→40名）に至る。

ITやデジタルに関するお悩み解決をご支援します



経営戦略を叶えるビジネスとITをデザイン

DX 支援コンサルティング

システムが古く
今後も使い続けられるか不安



IT・DXの取組を全社で進めたいが
うまく進まない



「DX推進やIT活用」について、こんなお悩みありませんか？

社内データやデジタル技術を活用し
企業価値を向上したいが...



経営

- 施策推進する人材がいない
- IT部門やDX推進組織が頼りない
- 当社のITに問題があるかわからない
- 現場が多忙で担当者を招集できない
- 取組の成果・効果が見えない
- 従業員のリテラシー不足

ITや最新デジタル技術を活用して
業務の効率化や生産性の向上を進めたいが...



現場担当者

- 現在の業務で手一杯
- IT・デジタル化への不安
- 導入システムの使い勝手が悪い
- 経営層のリーダーシップ不足
- 現場の意見が反映されない
- DXやIT施策の目的が不明

経営や業務の課題解決に向けて
システムやデジタルツールの導入を検討したいが...



IT・DX部門

- 現場社員の協力が得られない
- 経営層のDXへの理解が不足
- 経験がなく進め方がわからない
- 問題の優先順位がつけられない
- システムの選び方がわからない
- 必要な投資がなされない

DX推進やIT活用が進まない原因は？

「DX推進やIT活用の取組がなかなか進まない」という悩みを抱える企業は、以下3つが不十分であることが多いです。貴社はいかがでしょうか？

現状把握
ができていない

戦略やビジョン
がない

全社を巻き込んだ
意識改革
が不十分

DX推進やIT活用の取組を成功に導く

ポイントと進め方

DX推進やIT活用の ポイント



DX推進やIT活用の成功に向けて
3つのポイントを押さえましょう。

POINT
1

問題・課題の可視化

経営・現場・IT全体を俯瞰した現状分析を行い、真の問題や本当にやるべきことを明確にすることで、課題の優先順位をつけ、適切な施策を講じる近道となります。

POINT
2

目的やあるべき姿の明確化

導入ありきになりがちなプロジェクトに対して目的・ビジョンを定義することで、全社で向かうべきゴールが明確になり、経営・現場・ITのどの立場の方々とも、進む方向を共有化することが大切です。

POINT
3

納得感のある合意形成

DX推進やIT活用の取組は全社課題であるため、関わる組織・メンバー全員が納得感を持って自分事化することが重要です。そのために取組の目的や検討結果を納得してもらうための合意形成の場を設ける必要があります。

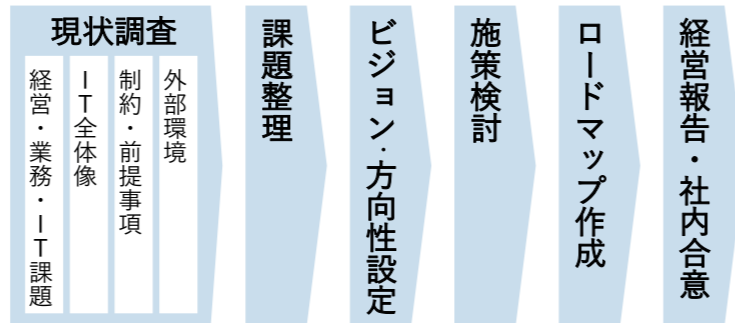
DX推進やIT活用の 進め方



DX推進やIT活用における
貴社の現在地を確認しましょう。

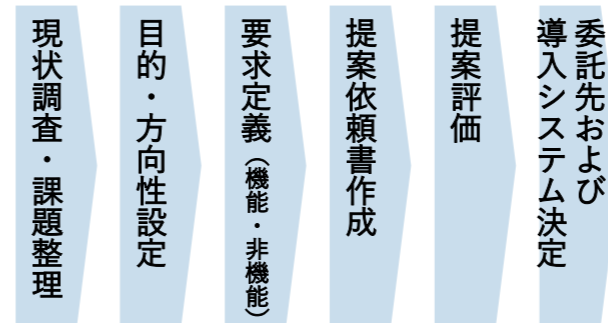
DX推進・IT活用の構想立案

経営戦略に基づいたDX推進・IT活用の構想を立てる



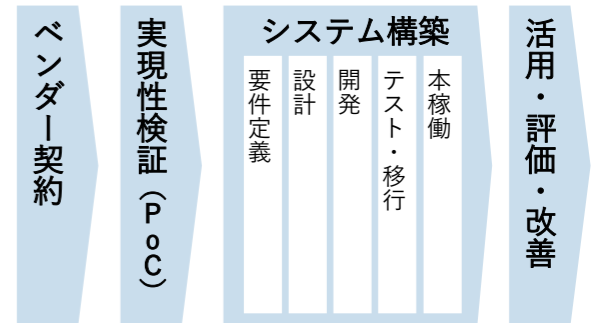
ITシステム調達

システム導入の提案依頼書作成・ITベンダーの評価を行う



システム導入プロジェクト推進

導入プロジェクトの管理を行う



DX支援コンサルティングのご提供サービス

DX推進・IT活用に向けた構想立案支援（構想策定）

経営戦略に基づいたDX/IT構想立案支援（構想策定）、IT中期経営計画、DX中期経営計画の策定

ITシステム調達支援（計画策定）

基幹システムや周辺システムの導入に向けた方針策定・要求定義・提案依頼書作成支援、調達支援後の構築フェーズのご支援もご提供いたします。

DX推進・IT活用に向けた実行・推進支援

DX組織の立上げ・施策検討・デジタル化企画評価（組織強化）弊社ノウハウ提供によるDX/IT推進組織の自走支援

アドバイザー・教育支援

DX推進・IT活用に向けた貴社内会議体への同席およびアドバイス支援、各種サービスにおけるノウハウ提供型（勉強会、研修）支援

ITの現状可視化・課題整理支援

IT活用に合わせた社内システム全体像の可視化、現状把握および課題の抽出・分析支援

データ利活用に向けた検討支援

データ利活用に向けた構想（ロードマップやガバナンス）策定支援、社内保有する大容量データ分析結果を元とした経営改善施策立案支援

その他ご支援サービス

経理DX、建設DXなど業務・業種別ご支援や、各種サービスにおける伴走型のご支援もご提供いたします。

ご要望に応じたご支援を検討いたしますので
お気軽にご相談ください。

